

〔和漢船用集四〕舟名數海船押廻ハシスル 大船也、荷方千石積以上の船艙を高く曲上る故押廻しと云、

〔和漢船用集四〕舟名數海船檣垣 攝州大坂廻船問屋の仲間船を云、六七百石以上、皆大船也、垣立の

筋を檣垣にするゆへの名なり、今檣垣と呼で荷舟の名とす、すべて大廻し荷物を積といへども、  
おほく酒樽、油樽類を積ゆへ樽舟と云、是又荷舟の一法也、

〔徳川禁令考四十五〕商估嘉永四年三月九日

諸問屋仲ケ間組合再興

去丑年、檣垣廻船積仲ケ問問屋共より、冥加金上納致來候處、○下

〔守貞漫稿五〕生業廻船問屋 諸國廻船多シト雖ドモ、運賃ヲ以テ漕スルハ、大坂ヨリ江戸ニ下ルヲ

第一トス、是亦大坂ヲ本トシ江戸ヲ末トス、其中ニ二種アリ、酒樽ヲ積ムヲ樽船ト云、其他ノ諸買

物ヲ積ミ漕スヲ菱垣廻船ト云、此船ハ船周リノ垣ノ子ニ菱ニ組ム故ニ名トス、他船ハ格子也、

此二船ヲ以テ、大坂二十四組ノ商家ヨリ出ス諸物ヲ、運賃ヲ以テ江戸十組ノ賈店ニ達ス、運賃諸

物ノ各定アリ、價物ノ條ニ載ス、樽菱垣トモニ數十艘アリ、大坂船問屋ノ自船ヨリ、或ハ船主別

ニ在テ問屋ニ托シアルモアリ、又時ニヨリ雇ヒ船モスル也、大概千石以上ノ船ノミ也、右ノ大坂

ヨリ出ル諸物ノ掌ルヲ積物屋ト云、江戸ヨリ大坂ニ達シタルヲ點檢シテ、其宛名ニ頒配スルヲ

荷役問屋ト云、諸國皆然リ、江戸ニハ菱垣樽船共ニ荷役問屋ノミニテ、積問屋小行故ニ兼之、

〔和漢船用集三〕舟名數海船半垣作 小早也、本垣立寸法、半分にする故の名也、屋形、帆棚、日覆等あり、

〔和漢船用集三〕舟名數海船欄干造 垣立を欄干にする者也

〔藻鹽草人事七〕雜物并調度船

ころ船○もたる船○にあまるけふ○にやあるらん

〔和漢船用集三〕舟名數海船ころふね 藻鹽草、舟の詞よせにも出たり、小早舟にて小檣舟也、すべて